



神戸市混声合唱団
Kobe City Philharmonic Chorus



春の定期演奏会

Regular Concert in Spring

「静寂と躍動」

～温かな心になる合唱と動きたくなるミュージカル～

2017年3月12日(日) 14:00開演

神戸文化ホール 中ホール



主催／(公財)神戸市民文化振興財団・神戸市

REGULAR CONCERT IN SPRING

指揮 矢澤 定明

おはなし 青木 耕平

プログラム

I 木下牧子の響き

木下 牧子：作曲

女声合唱曲集

自然と愛と孤独と

E. デイキンソン：詩／中島 完：訳詩

- 夜明けがいつ訪れるかを知らぬばかりに
- 太陽と霧が
- なんて柔かに毛虫は歩くことか
- 沼は秘密があって楽しいが
- 小石はなんていいんだ
- 悲しみのようにひそかに

ピアノ：河内 仁志

男声合唱曲集

- 鷗
- 夢みたものは
- 毀れた窓 「アンファンس フィニ」より

三好 達治：詩

立原 道造：詩

三好 達治：詩

ピアノ：金月 里紗

混声合唱曲集

地平線のかなたへ

谷川 俊太郎：詩

- 春に
- サッカーによせて
- 二十億光年の孤独
- 卒業式
- ネロ

ピアノ：大原亜樹子

— 休 憩 —

神戸市混声合唱団 春の定期演奏会によせて

皆様 暖かな春の日によろこそおいで下さいました。

I部の木下牧子さんの合唱曲は美しいメロディー、ハーモニーが特徴です。時にはそっと優しく囁く様に、時には心に直球で力強く飛び込んで来ます。選ばれている詩も子どもの素直な疑問であったり、哲学者の様に難しい事を問う事もあります。しかしどの曲も「神戸市混声合唱団」のレヴェルの高い演奏により、皆様が心地良いプレミアムな世界にお連れ致します。

II部では雰囲気をごらんと変え、華やかなミュージカルの世界にご案内致します。どこかで聴いた事のあるメロディーと一緒に口ずさんでいるうちに、一人ひとりの想いがやがて大きな力の歌声となり、皆様の心が踊る「躍動」のステージを体感頂く事になるでしょう。

今回のテーマ「静寂と躍動」を心ゆくまでお楽しみ下さいませ。

矢澤 定明

・サウンド・オブ・ミュージック

舞台は第2次大戦中の1938年に起こったドイツによる併合の前のオーストリアです。山々のそびえる中でマリアの歌声が響きます（サウンド・オブ・ミュージック）。マリアは修道院で聖職志願中の、おてんばな音楽好きの快活な若い乙女。彼女は修道院長に、抑制と秩序を重んじるゲオルグ・フォン・トラップ大佐の子ども達の家教師を命じられます。16歳の長女リーズルを筆頭に女の子5人男の子2人は母親の亡き後、大佐によって軍隊的に育てられていました。そして新任のマリアを追い出そうとするいたずらの連続。

マリアは熱心に子ども達の方に歩み寄っていきます。リーズルの恋の相談を受けた嵐の夜から子ども達もマリアに心を開きます。マリアは古いカーテンで遊び着を作り、皆で野外にピクニックへ出かけます。マリアは音階のレッスンのために歌を即興で歌い、子ども達もそれに合わせて楽しく歌います（ドレミの歌）。帰宅した子ども達を大佐は叱りつけ、マリアに解雇を告げますが、子ども達の歌うサウンド・オブ・ミュージックの調べに、家庭が音楽に満ち溢れていた頃を思い出し、一緒に歌い始めます。そして子ども達の勧めで彼は祖国を讃える歌エーデルワイスを歌います。舞踏会が開かれ、ここでマリアと大佐の間に愛が芽生え始めます。マリアはもうこれ以上トラップ邸にはないと考え、修道院に戻ります。修道院長に懺悔し生涯修道女として神に仕える事を誓いますが、院長は「人を愛することは神を愛することと同じ」とマリアを勇気づけます（全ての山に登れ）。戻ってきたマリアに大佐は愛を告げ、2人は修道女と子ども達に祝福され結婚します。

しかし幸せな家族に戦争の暗い影が忍び寄ります。大佐にドイツ海軍から召集令状が届くのです。大佐は隣国スイスへ亡命を試みますが、密告のために捕まってしまう。一家は出演予定だった競演会に向かいドレミの歌を歌い、大佐は「愛の歌」と称しエーデルワイスを歌い、祖国オーストリアへの愛を聴衆に思い出させるのです。助け合い山に登りながら追手から逃れる一家の門出を守り祝福するように全ての山に登れが高らかに流れます。

・レ・ミゼラブル

ジャン・ヴァルジャンの波乱に満ちた生涯は1815年のトゥーロンの牢獄からの仮出所から始まります。貧困のためパン1本を盗んだ罪で投獄され、仮出獄許可証を法の番人ジャヴェール警部から受け取り19年ぶりに外の世界に戻りますが、仮出所の身を世間の風は冷たくあしらいます。心の荒んだヴァルジャンは唯一救いの手を伸ばした司教を裏切り、銀の食器を持ち去ろうとします。しかし司教はさらに銀の燭台を彼に与え、正直な人間になるように諭します。彼は仮出獄許可証を破り捨て、まっとうな人間として生まれ変わることを誓います。

1823年のモントルイユ・シュール・メール。今や市長となったヴァルジャンは工場を所有するほどになりました。貧困に苦しんでいる人々が彼の工場の前で貧しい暮らしに怒りをぶつけています（一日の終わりに）。この工場で働くファンテーヌは父のいない娘のコゼットののために仕送りをしますが、同僚といざこざを起こし争いになり職場の上司に工場から追い出されます（夢やぶれて）。娼婦に身を落とした彼女は次第に体を壊していき、ヴァルジャンにコゼットの事を頼み息を引き取ります。コゼットが預けられていたのは悪どく稼ぐ田舎宿屋のテナルディエ夫婦でした。ヴァルジャンは幼い彼女を引き取りパリに帰って来ます。

1832年、貧困な民の溢れるパリの街で学生達が立ち上がり革命を起こそうとしています。特権階級の息子マリウスは家出し彼らと共に活動しています。テナルディエ夫婦の娘エポニーヌは密かにマリウスを慕いますが、彼は美しく育ったコゼットに一目惚れし、2人は恋に落ちます。執拗に追うジャヴェールに居場所を知られたと思い、ヴァルジャンはイギリスに逃亡をしようとします。

学生達はバリケードを組み上げ革命に備えています。彼らを内偵し、そして活動を阻止するためにジャヴェールは学生達に近づき、正体を見破られ軟禁されますが、革命の志願兵としてバリケードにやって来たヴァルジャンに彼は解放されます。政府側の軍隊から攻撃を受け、革命方は全滅。マリウスは瀕死の重傷を負いますがヴァルジャンが助け出します。ジャヴェールは逃亡中の2人を下水道で発見、捕縛しようとして見逃します。そして彼は「法の番人」としての自分の存在に矛盾を感じセーヌ川に身を投じます。

マリウスはコゼットの看病で傷を癒します。ヴァルジャンはマリウスのみならずの過去を明かし、コゼットのために身を隠します。2人は結婚しますが、その時マリウスはバリケードから自分を助けてくれた人物がヴァルジャンと知り、コゼットと共に正に世を去ろうとしているヴァルジャンに感謝を捧げます。かつて囚人だった彼は聖人として、ファンテーヌやエポニーヌの霊と共に天に召されていくのです（フィナーレ：民衆の歌）。

・キャンディード

4人の若い男女が住んでいるツンダー・テン・トロンク男爵の城のあるウェストファリアで物語は始まります（**ウェストファリアのコラール**）。この若者たちにはパングロス博士という教師がついていました。彼の教えは「この世は最善の世界である。最善の世界であるゆえ、この世で起こることは全て善のため」という楽天主義。博士の大らかな思想に、最善の世界の中でも最高の国の最高のお城に住んでいると思っている若者らは大いに影響を受けます。中でも一番幸せな男は男爵の近親の私生児で純白無垢のキャンディード。彼は伯爵の娘クネゴンデとの結婚の許しを請いますが、伯爵家族から怒りを買い国から追い出されます。

追放されたキャンディードは徴兵の契約をし、軍隊に引き込まれます。敵対しているのは故郷のウェストファリアと知り逃げようとはしますが捕まり、脱走兵として即座に裁かれ即処刑に決まります。幸いにも刑は執行されず彼は九死に一生を得ます。軍隊はウェストファリアになだれ込み、伯爵家の人物は全て処刑されます。

その後、キャンディードは物乞いとなっていたパングロス博士と偶然に遭遇、2人はスペインのリスボン行の船に乗りますが、航海中に船は真っ二つになり2人は海岸へ漂着。その時リスボンでは火山が大噴火し多くの老若男女が犠牲になります。それでも博士は「この世で起こることは全て善のため」と説きますが、それを聞いた男から異端者として連行されます。宗教裁判所は一般公開された拷問と処刑を執り行い、市民はこの見世物に狂喜乱舞します（**火あぶりにするには最高の日**）。パングロス博士は縛り首、キャンディードは鞭打ちの刑に処されました。

さて、場面は変わってフランスのパリ。そこに流れ着いたキャンディードは、あるユダヤ人とフランスの大司教が懇意にしているクネゴンデと歓喜のうちに再会をします。そこに現れる1人の老婆。意思に反して2人のパトロンを殺めてしまった彼はその老婆と3人で逃亡します。この老婆は「私はローマ法王の娘なのよ」と言い、自分の身の上を妖しく踊りながら歌うのです（**老婆のタンゴ**）。その後キャンディードはイエズス会の任務を持つ船の船長を引き受け、2人と共に南米の新世界へと旅立ちます。

3人は南米のブエノス・アイレスに到着します。老婆はヨーロッパから追ってきた警察を察知し、キャンディードをジャングルの中へ逃亡させます。彼は誠実なカカンボに伴われジャングルを奥深く進んでいきます。そこで彼らはその土地のイエズス会の最高位にある2人の男女から慎ましく生活する彼らの集団に帰することを勧められます。この2人は男爵の息子マクシミリアンと小間使いパケットと言うことが判明、手に手を取って喜ぶ3人でしたが、キャンディードがクネゴンデの生存を伝え彼女との結婚を語り始めると、兄のマクシミリアンが激高。キャンディードは不注意にもマクシミリアンを刺し殺してしまいます。ブエノス・アイレスでは3年が経過し、クネゴンデと老婆は知事の城の中での豊かで特権のある生活に辟易してきます。

再びジャングルの中で迷って空腹に悩まされているキャンディードとカカンボ。彼らはボートを見つけ川を下って行き、エルドラドに到着します。キャンディードは遂にパングロス博士の表現する理想郷を目の当たりにしますが、最愛のクネゴンデのいない世界は考えられず、元の世界に戻ることを決意し、黄金の羊を手にしてエルドラドを後にします。彼はブエノス・アイレスで逮捕を恐れ、1匹の黄金の羊をカカンボに渡しヴェニスで会おうと約束します。

オランダ人悪党のヴァンデルデンドゥルが遠くからキャンディードの黄金の羊を見て、ヴェニスに行く舟をその黄金の羊と引き換えに用意できると申し出ます。栈橋でヴァンデルデンドゥルと周りの人びとは安全な航海を祈ります（**よい旅を!**）。しかし船は沈み皆溺れてしまいます。

キャンディードは何とかヴェニスに到着します。クネゴンデと老婆はカジノで不自由なく生活し、一方生きていたパングロス博士はギャンブルで大当たりを盛大に祝っています。それを目の当たりにしたキャンディードはこれまで犯してきた罪とこれまで経験した困難を顧みて、人生の意味を大いに疑い始めるのです。

それから長い間、キャンディードは一言も喋りませんでした。彼の周りで色んなことが起こります。心を悩ませること、恐ろしいこと。それでもキャンディードは何も言いません（**全ては美なり**）。そして最後にキャンディードは思うのです。過去にあった苦悩や歓びを考えるより、今の自分たちを愛し、最愛のクネゴンデと共に人間の自然の役割を果たそうと（**我々の庭を育てよう**）。

Ⅱ 踊る!?!「コーラスミュージカルナンバー」より

「サウンド・オブ・ミュージック」より

The Sound of Music

O. ハマーstein2世：詞

R. ロジャース：曲

北野 実：編曲

- サウンド・オブ・ミュージック
- ドレミの歌
- エーデルワイス
- すべての山に登れ

マリア 内藤 里美

ピアノ：金月 里紗

「レ・ミゼラブル」より

Les Misérables

A. プープリル、J. ナテル、H. クレツマー：詞

C. シェーンベルク：曲

M. ハフ：編曲

- 一日の終わりに
- 夢やぶれて
- フィナーレ-民衆の歌

ファンティーヌ 高原いつか

エポニーヌ 八木 寿子

民 衆 老田 裕子

津田 佳子

長谷川明莉

丸山 晃子

山田 愛子

ピアノ：多久江里子

「キャンディード」より

Candide

R. ウィルバー、J. ラトゥーシェ：詞

L. バーンスタイン：曲

- ウェストファリアのコラール
- 火あぶりにするには最高の日
- 老婆のタンゴ
- よい旅を!
- 全ては美なり
- 我々の庭を育てよう

キャンディード 秋本 靖仁

クネゴンデ 金岡 伶奈

老婆 野上 貴子

ヴァンデルデンドゥル 馬場 清孝

裁判官 井澤 章典 嶋本 晃 西尾 岳史

執事 武久 竜也 福嶋 勲

パケット 肥田真莉子

移民局員 総毛 創

マクシミリアン 高橋 純

ヴォルテール 石原 祐介

ピアノ：大原重樹子 沢田真智子



矢澤 定明 指揮

東京藝術大学卒業。バリ留学を経てトランペット奏者および指揮者として活動を開始。指揮を佐渡裕、高階正光、三澤洋史らに師事。歌劇「カルメン」でプロ指揮者としてデビュー。2000年には宮本亜門演出「くるみ割り人形」を指揮。これまでに「日本フィル」「東フィル」「ロイヤルチェンバー」「名フィル」「日本センチュリー響」「奈良フィル」「新国立劇場合唱団」「シエナ・ウインド」「大阪市音」「ブリッツフィル」等を指揮。Bunkamura20周年記念N響特別演奏会「第九」、大阪城ホール「1万人の第九」の合唱指揮および副指揮を務めるほか、新国立劇場や兵庫県立芸文センター

などで数多くのオペラ公演に携わっている。'12年イタリア・トリノ王立歌劇場の「カルメン」公演（佐渡裕指揮）の副指揮者を務める。東京の第一生命ホールでのオペラプロジェクトでは'09年「フィガロの結婚」、'10年「ドン・ジョヴァンニ」、'11年「コジ・ファン・トゥッテ」、'12年「セビリヤの理髪師」、'14年「フィガロの結婚」のプロデュースおよび指揮で高い評価を得た。神戸市主催によるオペラ公演では'14年「カルメン」、'16年「蝶々夫人」を指揮、いずれも大絶賛を博し公演を成功に導いた。

'13年度より愛知県立芸術大学非常勤講師として後進の指導にも力を注いでおり、同大学のオペラ公演でも指揮で大きな成果を上げている。全国各地の音楽文化事業への関わりにも積極的で丁寧で愛情溢れる指導で多くの事業を成功に導いている。

青木 耕平 おはなし

京都市立芸術大学音楽学部声楽専修卒業。音楽学部賞受賞。同大学院音楽研究科声楽専攻修了。2000年から8回にわたり「室内オペラによるリサイタル」シリーズを開催。オペラでは、モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールをはじめ、多くの公演に出演。フォーレ「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」などのソリストを務める。現在、大阪音楽大学、同志社女子大学、神戸山手女子高等学校音楽科にて後進の指導に当たる。神戸市混声合唱団には1990年入団、1994年コンサートマスターに就任、2013年副指揮者に就任し、現在に至る。兵庫県音楽活動推進会議・神戸音楽家協会各会員。関西歌曲研究会理事。



神戸市混声合唱団

Kobe City Philharmonic Chorus

1989年に神戸市により設立された日本を代表するプロフェッショナルの合唱団。神戸を拠点に童謡・唱歌、日本歌曲、外国歌曲、オペラ、シャンソンまで豊富なレパートリーをもち、市民に身近な合唱団として親しまれ「音楽のまち神戸」推進に大きな役割を果たしている。2005年には、ウラディーミル・アシュケナージ指揮、NHK交響楽団と「レクイエム」（阪神・淡路大震災10年）を共演。2010年、合唱の国ラトヴィア（リガ市）で世界的に有名な室内合唱団「アヴェ・ソル」とジョイントコンサートを行い、姉妹合唱団協定を締結。2013年7月、リガ市からの招聘により、ユネスコ無形文化遺産であるラトヴィア「歌と踊りの祭典」に出演。また、2011年に初のCD、特別演奏会「宇野功芳 叙情の世界」を、2012年には第2弾CD「宇野功芳 叙情の世界2」をリリースし、レコード芸術特選盤などに選出される。澄みきった密度の高い合唱は、美しい神戸ハーモニーとして高い評価を得ている。

音楽監督 中田 幸子 副指揮者 青木 耕平・太田 務 マネージャー 皆本 美千代

Soprano

ソプラノ

伊藤 碧
●老田 裕子
金岡 伶奈
周防 彩子
田中 めぐみ
津田 佳子
内藤 里美
端山 梨奈
丸山 晃子

Alto

アルト

高原いつか
友好 博子
西本 鑑子
●野上 貴子
長谷川明莉
肥田真莉子
村井 優美
八木 寿子
山田 愛子

Tenor

テノール

秋本 靖仁
井澤 章典
総毛 創
谷口 文敏
土井 淳平
馬場 清孝
●真木 喜規
三木 秀信
山本 欽也

Bass

バス

池田 真己
★石原 祐介
嶋本 晃
高橋 純
武久 竜也
中野 嘉章
西尾 岳史
●福嶋 勲

Piano

ピアノ

大原亜樹子
河内 仁志
金月 里紗
* 沢田真智子
多久江里子
中村 圭介
松永 玲子

★コンサートマスター ●パートリーダー *ピアノリーダー